

乳房撮影（マンモグラフィ）のご案内



【マンモグラフィとは】

マンモグラフィとは乳房のX線撮影のことです。触っても判らないような小さなガンや、しこりをつくらぬガンを白い影や非常に細かい石灰化の影として写すことができます。

【検査装置の紹介】

2019年3月から、最新のマンモグラフィ撮影装置（AMULET Innovality）を導入しています。高精細画像を可能とする小さな画素サイズと、新たな画像処理技術により、画質が向上しました。また、検査時間も大幅に短縮して、被ばくも軽減されました。

【マンモグラフィ検診施設画像評価について】

日本乳がん検診精度管理中央機構では、乳がん検診の質の向上と維持のために検診施設の画像評価を行っています。被ばく線量、日常の品質管理、実際に撮影した写真による撮影技術や画質などを厳しく審査され、全ての項目に合格した施設のみ認定が与えられます。当院も、「マンモグラフィ検診施設画像認定証」の認定を取得しています。

【乳がんについて】

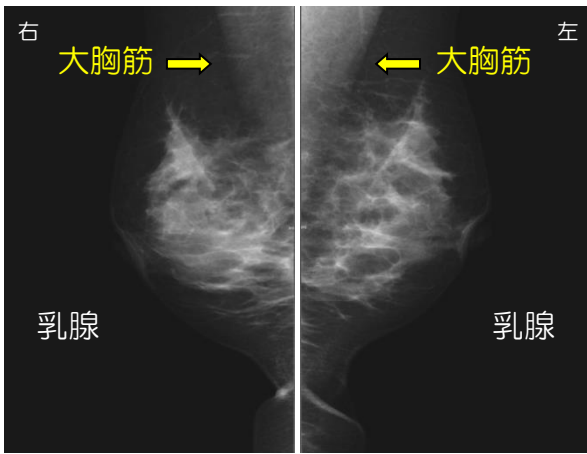
乳がんは、癌の中では日本人女性が一番罹る恐れがあり、働き盛りの30～60歳で死亡率が高い病気です。早期発見が重要なので、定期的に検診を受けることをお勧めします。

【検査準備】

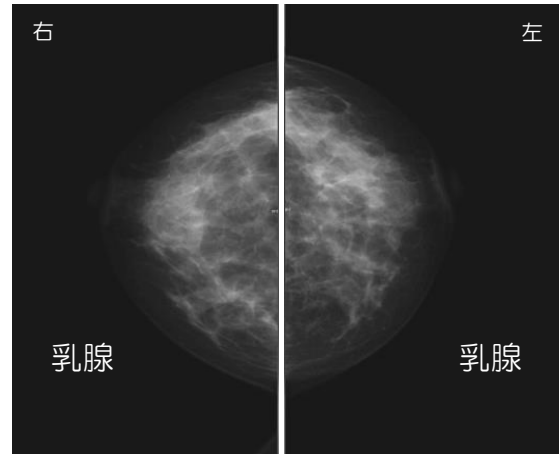
- 上半身の衣服は全て脱いでいただきます。
- * 制汗剤などは、皮膚に付着したパウダーが写真に写し出され、異常と診断されることがあります。当日ご使用されている場合は、拭き取っていただくようご協力をお願いします。
- * また、髪の毛が写真に写ることも診断の妨げになりますので、髪の毛の長い方は結んでいただきます。

【検査内容】

- 検査は、15分程度で終わります。
- 当院では、全て女性技師が担当させていただきます。
- 担当技師が直接乳房を触って撮影していきますのでご了承下さい。
- 撮影は、斜め向きから（内外斜位方向：MLO）と上から（頭尾方向：CC）押さえる2方向の撮影となります。両方の乳房を撮影しますので、各々2回計4回撮影します。
- 実際の撮影では、乳房を引っ張って圧迫しながら行います。これは、乳房を薄く均等に伸ばすことで、乳腺の重なりを減らして病変を見つけやすくなったり、X線の量を減らしたりすることができるためです。



内外斜位方向（MLO）画像



頭尾方向（CC）画像

【検査のタイミング】

乳房が張る生理前を避けて、生理開始後 1 週間くらいに検査を受けると、圧迫による痛みが減少すると言われています。ただし、しこりや分泌物がある場合など、気になる症状がありましたら、検診を待たずにできるだけ早く受診してください。

【注意事項（下記に該当される方は検査を受けることができません）】

- 豊胸術をされている方
- ペースメーカーを装着されている方
- 妊娠中の方や妊娠の可能性のある方

*授乳中の方はあらかじめお知らせください。

*人間ドックでも検査可能です。